

上五島病院建設工事に係る設計業務
公募型プロポーザル審査結果

上五島病院建設基本設計・実施設計候補者審査委員会

(1) 審査結果

上五島病院建設基本設計・実施設計候補者審査委員会(以下、「審査委員会」という。)は、二次にわたる審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を最優秀提案者及び次点者に特定しました。

○最優秀提案者 梓設計・重野設計特定建設関連業務委託共同企業体
代表構成員 (株)梓設計 九州支社 (福岡市)
その他の構成員 (株)重野設計事務所 (長崎市)

○次点者 山下・松林特定建設関連業務委託共同企業体
代表構成員 (株)山下設計 九州支社 (福岡市)
その他の構成員 (株)松林建築設計事務所 (長崎市)

(2) プロポーザルの審査方法

プロポーザル審査委員会において、事前に定めた評価基準により、一次審査及び二次審査を実施し、最優秀提案者を特定し併せて次点者を選出。

- ・上五島病院建設基本設計・実施設計候補者審査委員会(別添1)
- ・一次審査(選定基準)及び二次審査(特定基準)の評価項目、配点(別添2)

(3) プロポーザルの経過等

①プロポーザルの公告(参加者募集):令和5年3月9日

②参加表明書の提出期限:令和5年3月28日

- ・参加表明書提出者数:3者

③技術提案書提出要請:令和5年4月7日

- ・技術提案書の提出要請者数:3者

④技術提案書の提出期限:令和5年5月23日

- ・技術提案書提出者数:3者

(4) 審査委員会

①第1回審査委員会（令和5年2月24日）

- ・審査基準等の決定

②第2回審査委員会（令和5年4月7日）

- ・提出された参加表明書を審査し、技術提案書の提出者を選定

③第3回審査委員会(令和5年5月31日)

- ・提出された技術提案書を審査
- ・非公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施
- ・最優秀提案者を特定し、併せて次点者を選出

(5) 審査結果

参加表明書の受付順 に表示	A者	B者	C者
一次審査 (満点300点)	272.1	262. 1	181.3
一次審査 順位	1位	2位	3位
一次審査 結果	選定	選定	選定
二次審査 (満点600点)	526. 0	540.1	446.2
全体(一次＋二次) (満点900点)	798. 1	802. 2	627. 5
全体順位	2位	1位	3位
審査結果	次点者	最優秀提案者	

(6) 委員長講評

(別添3)

上五島病院建設基本設計・実施設計候補者審査委員会委員名簿

委員会	氏名	所属
委員長	一宮 邦訓	長崎県上五島病院院長
委員	馬場 秀喜 (※1)	長崎県病院企業団副企業長
委員	上田 浩之	長崎県土木部営繕課課長補佐
委員	加藤 一征	長崎県福祉保健部医療政策課課長
委員	畑下 幸治 (※2)	新上五島町建設課課長
委員	中谷 幸実 (※3)	新上五島町健康保険課課長

※1 令和5年4月1日の人事異動により、伊藤 幸繁 委員に替わり就任しました。

※2 令和5年4月1日の人事異動により、坂田 満 委員に替わり引き続き就任しました。

※3 令和5年4月1日の人事異動により、畑下 幸治 委員に替わり就任しました。

(順不同・敬称略)

一次審査(評価項目及び配点)

評価項目		評価事項	配点	様式
事務所の体制、実績 (基礎的審査)	組織体制	事務所及び協力事務所の有資格者数を評価	30 点	様式 2
	業務実績	同種・類似業務の実績件数を評価	20 点	様式 4
技術者の経験等 (基礎的審査)	管理技術者	経験年数、同種・類似業務の実績件数、受賞歴を評価	20 点	様式 5-1
	主任技術者	資格・経験年数、同種・類似業務の実績件数、受賞歴を評価	30 点	様式 5-2
事務所の実績 (専門的審査)	同種・類似業務実績	設計した建物の設計理念に基づく業務の成果が優れているかを評価する	30 点	様式 7-1
	事務所の業務実績	上五島病院の設計業務に活かせる業務の成果は優れているかを評価する	20 点	様式 7-2
業務の実施方針 (専門的審査)		上五島病院及び業務範囲区域全体の整備に対する考え方を評価する	100 点	様式 8
		業務を実施するために組織する体制を総合的に評価する	25 点	様式 8
		手持ち設計量も勘案し、作業スケジュールを総合的に評価する	25 点	様式 6
一次審査の評価合計			300 点	

二次審査(評価項目及び配点)

評価項目	評価事項			様式
見積額 (客観的審査)	見積額の評価点数計算方法 200×(1-(見積額/業務規模) ※小数点以下は切り捨て(上限 50 点)		50 点	様式Ⅲ-1 様式Ⅲ-2
技術提案書 (専門的審査)	特定テーマ① 島内唯一の入院機能を有する中核病院としての考え方	・提案内容の独創性、独自性や魅力 ・所定の施設計画としての妥当性、現実性、技術的信頼性など(提案者の企画力、技術力等を総合的に評価)	150 点	様式Ⅳ-1 様式Ⅳ-2 様式Ⅳ-3
	特定テーマ② 安全・安心に考慮した施設計画の考え方		150 点	
	特定テーマ③ 快適性、利便性に考慮した施設計画の考え方		100 点	
	特定テーマ④ 周辺環境へ調和した施設計画の考え方		100 点	
	特定テーマ⑤ 環境負荷低減と経済性についての考え方		50 点	
二次審査の評価合計			600 点	
一次審査と二次審査の評価点の合計(プロポーザル評価)			900 点	

委員長講評

(審査経過及び結果)

1. プロポーザルの技術提案書提出者 3 者に対し、ヒアリング（15 分のプレゼンテーション及び 15 分の質疑応答）を実施した。
2. 技術提案書の内容及びヒアリングを踏まえ、審査基準に基づき審査を行い、最優秀提案者及び次点者を特定した。
3. 今回のプロポーサルについては、設計者（人）を選んだものであり、設計案を選んだものではない。具体的な設計については、今後基本構想及び基本計画を基に、調整を行った上で作業を進める必要がある。

(各者の講評)

○ B 者（最優秀提案者）

- ・ 外来患者駐車場、職員駐車場が一体化したオープンスペースで、より具体的で積極的な提案が見られた。
- ・ 景観的調和については、十分に配慮された提案であった。
- ・ 災害時において、周辺の備蓄記念会館、温水プール及び公園を含めた、速やかな災害モードへの転換といった具体的な提案であった。
- ・ 建替え中の診療への影響も最小限となる提案であった。
- ・ 3 者の中で、より提案内容の独創性、独自性や魅力がある提案であった。
- ・ ヒアリング時の説明や質疑応答における回答も、詳細な検討を行っていることをうかがわせ、今回の業務を委託するにあたり、十分な力量を有していると判断し、最も優れた提案を行った者とした。

○ A 者（次点者）

- ・ 各テーマに対する内容がよく考慮されており、丁寧で具体的な提案であった。
- ・ 景観的調和については、十分に配慮された提案であった。
- ・ 利用者の目線に立ち、スタッフの動線にも配慮したフロア構成の提案は評価できる。
- ・ 災害時など有事に周辺施設も含めた利用を考慮すると、検討が必要と思われるところがみられた。
- ・ ヒアリング時の説明や質疑応答における回答も、詳細な検討を行っていることがうかがえ、次点者として評価した。

○ C者

- ・ 各特定テーマに対する提案が整理できていない点がみられた。
- ・ 基本計画案について、玄関前が常に工事中となる課題についての解決策として、利便性、安全性を考慮した提案は評価できる。
- ・ 今後基本設計を進めていく中で、病院側とのコミュニケーションが十分にとれるのかなどの疑問を払拭できず、全体として高く評価することができなかった。